

静岡市立高等学校 令和8年度 第1回学校運営協議会 議事録

I 概要

- 1 開催日時 令和8年5月11日 午前10時から12時
- 2 開催場所 静岡市立高等学校 会議室
- 3 出席者 (委員) 佐伯泰広委員、海野耕司委員、梅島眞代委員、高木雅宏委員
(学校) 新家輝男校長、後藤啓介副校長、佐藤敬子教頭、前島克也事務長
- 4 傍聴者 なし
- 5 協議資料 令和8年度学校経営構想
市立2高校の再編に関する資料(静岡市教育委員会配布)

II 議題等(次第順)

1 開会と役員選任

- 資料確認: 令和8年度学校経営構想、市教委からの2高校再編に関する資料等を確認
- 任命状交付: 市教委担当者から各委員へ任命状が交付された。
- 役員選任: 委員からの推薦に基づき、会長に佐伯委員、副会長に海野委員が選任された。

2 校長挨拶と新年度方針

- 学校教育を止めず、生徒と教職員を守ることを基本スタンスとする。
- 生徒には「主体性」「視野の広さ」「自己有用感」の3つの資質能力の重要性を伝え、学力定着と心を耕すことを求める。
- 新入生には、感謝の気持ち、自己のあり方の追求、自他の命の大切さを説いた。

3 市教育委員会からの報告: 市立2高校の再編と中等教育学校の設置

- 確定事項: 清水桜が丘高校と静岡市立高校を再編し、将来的に国際グローバル及び情報理数の中核とした中等教育学校を1校設置する方針が示された。在校生に不利益が生じないよう配慮し、来年度入試は通常通り実施する。
- 今後の検討事項: 校地(現2校のいずれか活用)、開校時期(令和12年目標は未確定)、募集定員などを県教委と調整する。また、移行プロセスや教育課程の策定、不使用校地の活用を検討する。
- 委員からの要望: 関係者が多いデリケートな問題であるため、進捗状況を一度に発表するのではなく、段階的に情報公開するよう教育委員会に要望が出された。

4 令和8年度 学校経営構想

- 概要説明：副校長より、教育目標、重点目標、スクール・ミッション、3つのポリシー（グラデュエーション、カリキュラム、アドミッション）から成る経営構想が説明された。具現化のため「主体性の育成」など6本の柱が示された。
- 構想の承認：本構想は、委員から「学校の願いや目指す姿が網羅されており、よくまとまっている」と評価され、満場一致で承認された。校長は、本構想を職員間のコミュニケーションツールとして1年間運用すると述べた。

5 意見交換

① 自己紹介と所見

- 各委員が自己紹介を行い、同窓会や地域住民の思いを受け止める重要性、学校統合の進め方への懸念などが表明された。

② 探究的学習

- 校長より、当校の探究は仮説検証を重視する「論証の型」であり、SSHの取り組みを全校に広げていると説明があった。
- 探究の成果を一般教科にも広げ、課題解決型の授業展開を期待する意見が出た。

③ 学校公開・中学生向け広報

- 進路選択の早期化に対応し、学校説明会を8月に前倒しする。
- 「科学探究科」が難しく感じられる印象があるため、魅力を分かりやすく伝える工夫が必要との指摘があった。

④ 学校再編への対応

- 生徒・保護者の潜在的な不安を考慮し、憶測を解消するための適切な情報発信が求められる。

⑤ 学校評価

- 承認された構想に基づき、アンケート等の数値を経年比較するなど、客観的な指標を用いた評価仕組みを構築することを確認した。

6 閉会（今後の予定 時間は全回とも午前10時～12時を予定）

第2回：令和8年6月6日（土）市高祭（文化祭）

第3回：令和8年9月26日（土）学校公開日

第4回：令和9年2月11日（木・祝）SSH研究成果発表会